

令和6年1月12日


令和5年度 第3回全国健康保険協会福岡支部評議会

資料6

## 第3期 福岡支部データヘルス計画（概要）


# 健康課題

課題1：喫煙者が多く、喫煙をやめたいと思っている人が減少している。

- 
- ・悪性新生物やCOPD罹患者数の増加
  - ・冠動脈疾患や脳卒中などのリスクが上昇
  - ・医療費の増加

参考資料3-1：P.3-P.8、P.14


課題2：健診未受診者（被保険者＋被扶養者）が44万人（約5割）

- 
- ・健康課題が不明確
  - ・特定保健指導などの支部の保健サービスが提供できない
  - ・健康状態を把握する機会がないまま重症化する可能性

参考資料3-1：P.2、P.9

課題3：特定保健指導未実施者（被保険者＋被扶養者）が約7.6万人（約8割）

課題4：代謝リスク保有者の割合が高い（男性：24.4%、女性：12.3%）

- 
- ・メタリックシンドローム該当者の増加
  - ・内臓脂肪型肥満によるインスリン抵抗性の可能性
  - ・生活習慣病発症の可能性


参考資料3-1：P.10-13

課題5：健診結果で受診が必要な者のうち、治療につながない者（被保険者＋被扶養者）が約15.9万人（約8割）

- 
- ・生活習慣病の発症及び重症化の可能性
  - ・新規人工透析患者の増加

参考資料3-1：P.15

課題6：糖尿病による新規透析患者数の割合が増加している。（※特に40歳代、50歳代）

- 
- ・合併症の発症によるQOLの低下
  - ・医療費の増加
  - ・健康寿命の短縮

参考資料3-1：P.8、P.15

	第2期データヘルス計画 (平成31年度～令和5年度)
上位目標 (10年以上経過後に達する目標)	糖尿病による新規人工透析者数を2015年度から5%減らす。
中位目標 (6年後に達成する目標)	○糖尿病/高血圧症未治療者の受診率が6.6%(2015年)から12.0%(2023年)に上がる。 ○メタボリックシンドローム該当者(男性_被保険者_40-64歳)割合が21.1%(2015年)から18.7%(2023年に減少する。
事業名	○糖尿病/高血圧症未治療者への受診勧奨事業 ○糖尿病性腎症重症化予防事業 ○特定健診受診勧奨事業 ○特定保健指導推進事業 ○事業主とのコラボヘルス事業 ○関係団体への情報発信事業



	第3期データヘルス計画 (令和6年度～令和11年度)
対策を進めるべき 重大な疾患 (10年以上経過後に達するゴール)	糖尿病性腎症による新規透析導入患者数を増加させない
6年後に達成する 目標 (健康課題を踏まえた検査の改善等の目標)	代謝リスク保有者(服薬あり者を除く)の割合を上昇させない(12.9%維持)
事業名	○事業主とのコラボヘルス事業 ○特定健診受診勧奨事業 ○特定保健指導推進事業 ○生活習慣病重症化予防事業

# 取り組む4事業

## ①事業主とのコラボヘルス事業

○喫煙習慣のある者の割合が全国10位(2022年度)と高く、ハイリスクのある業態・地域等を対象に禁煙対策を推進する。



禁煙対策の推進により、糖尿病及び悪性新生物の発症リスクを抑制する。

## ②特定健診受診勧奨事業

○健診受診率の低い業態への受診勧奨の強化。



生活習慣病予防健診の受診率を向上させ、健康課題をより明確にし、改善に繋げる。

## ③特定保健指導推進事業

○血圧・血糖・脂質の値が受診勧奨対象となる者が多く、また、特定保健指導の実施率が支部平均に満たない業態への特定保健指導の推進。



特定保健指導実施率をR4の支部実績(21.1%)まで引き上げるとともに、35歳から39歳の受診勧奨対象者にもアプローチすることで、若年層の改善につなげる。

## ④生活習慣病重症化予防事業

○血圧・血糖・脂質の値が受診勧奨対象となる者が多く、また、勧奨後の受診率が支部平均に満たない業態への受診勧奨強化。



健診後10か月以内の受診率を支部平均まで引き上げる。

# 取り組む4事業

